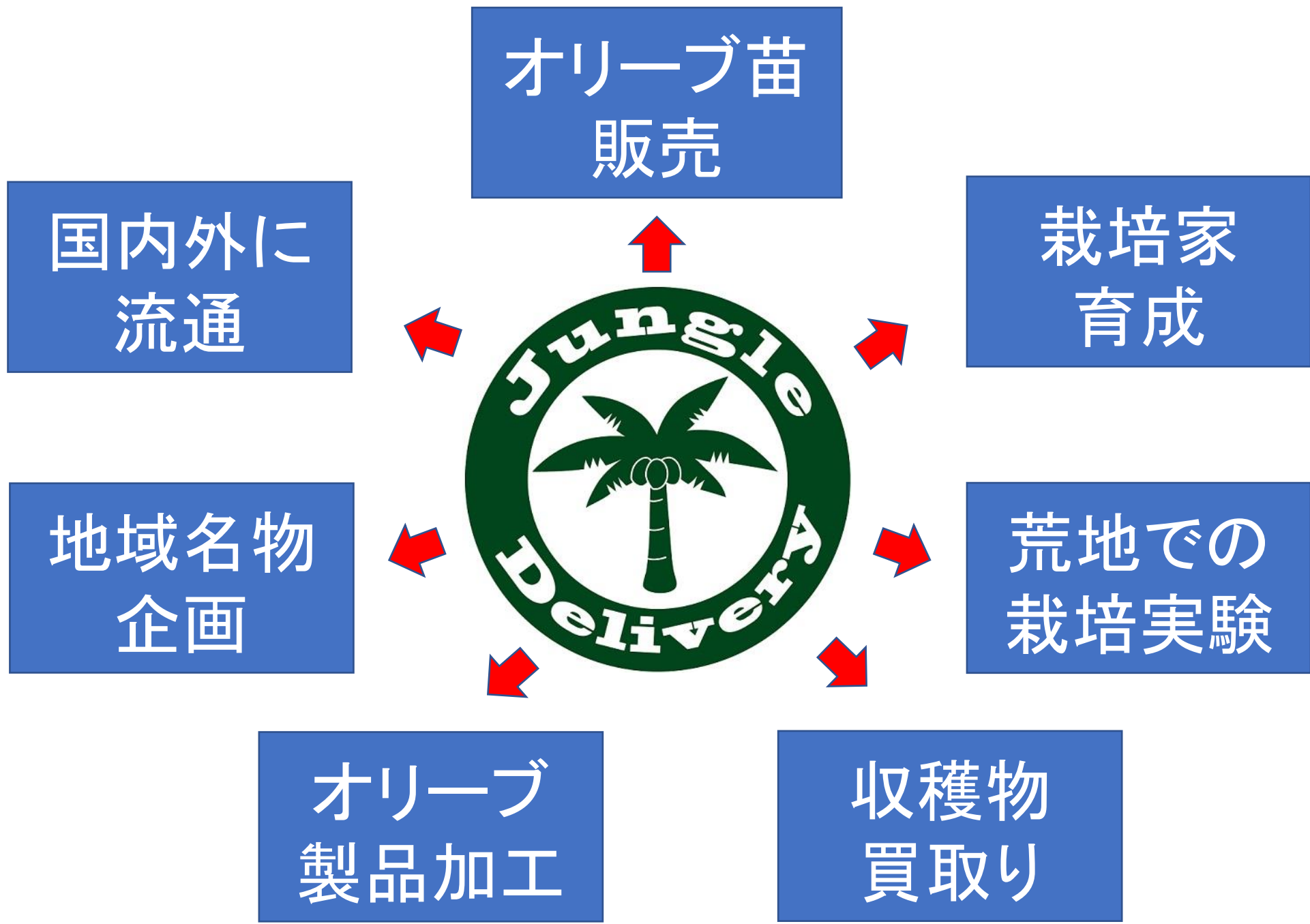


**令和5年度
ぐんまAgri×NETSUGEN共創
実証事業成果報告**

「有機オリーブ栽培の実証と新名物をつくる」

**2024年 3月14日 (木)
株式会社ジャングルデリバリー
代表取締役 三田英彦**



群馬県内のジャングルデリバリー共創事例

豆かす堆肥で
オリーブ栽培



スターバックスカインズ伊勢崎

オリーブ残渣を
乳牛の飼料に



須藤牧場（前橋）

落ち梅を加え
オリーブ搾油

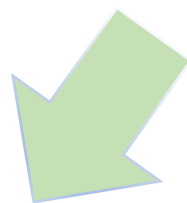


秋間梅林（安中）

地元有機栽培の



オリーブメニュー



オリーブ抹茶ハイ(館林)



オリーブ抹茶アイス&ラテ (前橋)



オリーブ茶うどん (桐生)



甘楽町の遊休農地等で 有機オリーブ栽培を提案



成果目標

オーガニックビレッジ宣言をした
甘楽町において、オリーブを新たな
農産品として定着させる

技術提供

有機JAS認証企業の持つオリーブ栽培技術を伝え、**海外市場開拓**を視野にプロダクト開発をする

- ・初年度は甘楽町内300本のオリーブから半年後にはオリーブ葉50kgを収穫する
- ・収穫したオリーブ葉を原料として、新メニューを開発し、6次化に適応できる個人や団体を育成する

実証(1) 高地での栽培に挑戦

※オリーブ栽培の適作地は標高500mまでとされているが、700mで栽培実証が示せた場合、群馬県内の多くの山間地域での栽培を推奨できる。今回は4種の苗で越冬を試みた。



甘楽町有施設「やすんべえ家」(標高約700m)におけるオリーブ定植実験

成果(1) 高地での越冬に成功

※オリーブ栽培の適作地の定説を超える700mで栽培実証
4種の苗で**越冬に成功**。鹿等の**害獣被害も軽微**であった。



稲藁を巻き付けて寒さ対策をすると同時に鹿による獣害を防いだ。他地区でも実証を重ねたい。

実証(2) 栽培家の育成に挑戦

※甘楽町はイタリアのチェルタルド市との40年間の交流によりオリーブを町施設に植樹してきたが、住民による農地でのオリーブ栽培を本年より開始。挑戦者を成功に導き、栽培家を県内に増やしていきたい。



黒澤 篤氏の遊休農地に70本定植



三浦 淳氏の遊休農地に115本定植



黒澤 登氏の遊休農地に75本定植

甘楽町内の農地3ヶ所においてオリーブ260本を植樹し、成功体験から栽培家を増やす取組

甘楽町内に300本のオリーブを植樹

植樹先	植樹日	植樹場所（住所）	植樹場所（Google Map）	オリーブ品種					
				ヒナカゼ（大）	ヒナカゼ（中）	フロントイオ	タジャスカ	ルッカ	
				計	80	196	12	8	4
黒澤 篤 様	2023/10/6	〒370-2213 群馬県甘楽郡甘楽町白倉 1 8 3 0	https://maps.app.goo.gl/5Dw4Sd1kR3YFbAq57	70					
甘楽町スマートインター 出入口（下り）	2023/10/6	〒370-2217 群馬県甘楽郡甘楽町天引 2 5 5 0 - 5	https://maps.app.goo.gl/nwLDDiTJUSDco7dS7			8	7		
三浦 淳 様	2023/10/24	〒370-2211 群馬県甘楽郡甘楽町小川 5 5 8 - 1	https://maps.app.goo.gl/n1rEYgEmkesSyzNr7	10	105				
高勝 保 様	2023/10/24	〒370-2212 群馬県甘楽郡甘楽町福島 1 6 7 4 - 1	https://maps.app.goo.gl/JvKpAKHWHNgD28hdA		6				
黒澤 登 様	2023/11/16	〒370-2206 群馬県甘楽郡甘楽町善慶寺 6 2 4 - 1	https://maps.app.goo.gl/nRvGhzcxaZGfAqX9		75				
レストラン スリス	2023/11/16	〒370-2202 群馬県甘楽郡甘楽町小幡 8 2 0	https://maps.app.goo.gl/EwgLi3MK9Ncm6btC9		8	3			3
やすんべえ家	2023/11/16	〒370-2204 群馬県甘楽郡甘楽町秋畑 5 5 3 7 - 1	https://maps.app.goo.gl/hbaqq5CfyyX33bBA7		2	1	1		1

成果(2) オリーブ葉剪定と収穫

※1月26日に甘楽町内に定植したオリーブの枝を剪定して葉もぎを実施し46kgを収穫。県内で製茶（22kg）し、甘楽町オリジナルメニュー開発の原料としてこのオリーブ茶を使用していく。



甘楽町内に植えたオリーブ葉を剪定後、農家の納屋にて葉もぎを実施し、製茶工程に入った。

成果(3) 甘楽町の新名物開発

※甘楽町で人気の道の駅に地元原料100%のオリーブ茶をデビューさせた。土産物の他、新たな食のメニュー開発にむけて住民が能動的に動く仕組みができた。



甘楽町の黒澤さんが栽培したオリーブ葉を製茶し、栽培家が製品を買い戻し、地元の道の駅で発売開始。

成果(4) 甘楽町の新名物づくり

※甘楽産100%の無農薬オリーブ葉からできたパウダー茶を蕎麦粉に練りこみ、オリーブ抹茶蕎麦を開発。町の新しい名物として地域住民はもとより観光客へアピールをしていく。



閉店した蕎麦的那須庵を復活させるべく地域おこし協力隊として川崎市から移住した山本夫妻と創作そば

成果(4) 関係者試食会



オリーブ茶を使った富田製麺によるオリーブうどんも完成。関係者が集まり3/12に蕎麦うどん試食会を実施

成果(4) 甘楽町の新名物づくり

※甘楽産100%の無農薬オリーブ葉からできたオリーブ抹茶アイスクリーム・オリーブほうじ茶ゼリー・オリーブ白玉



山本夫妻によるオリーブリーフ茶を使った創作スイーツ。那須庵オープンの際のメニューに。

甘楽版エコシステムの完成



実証(3) 群馬オリーブ輸出ルート開拓



外貨



地元で栽培



地元で加工



海外市場



輸出

成果(5) 台湾市場開拓に道筋

※台南市の化粧品企業より化粧品原材料としてオリーブオイルが永続的にオーダーされた。台湾側は極力県産オリーブオイルを使用したいという要望を持ち、安定的な出荷先を獲得した。



化粧品企業は顧客からESG経営を求められ、石油由来のオイルを自然由来の原料に変える機会となった。

実証(6) 香港市場でのテスト販売

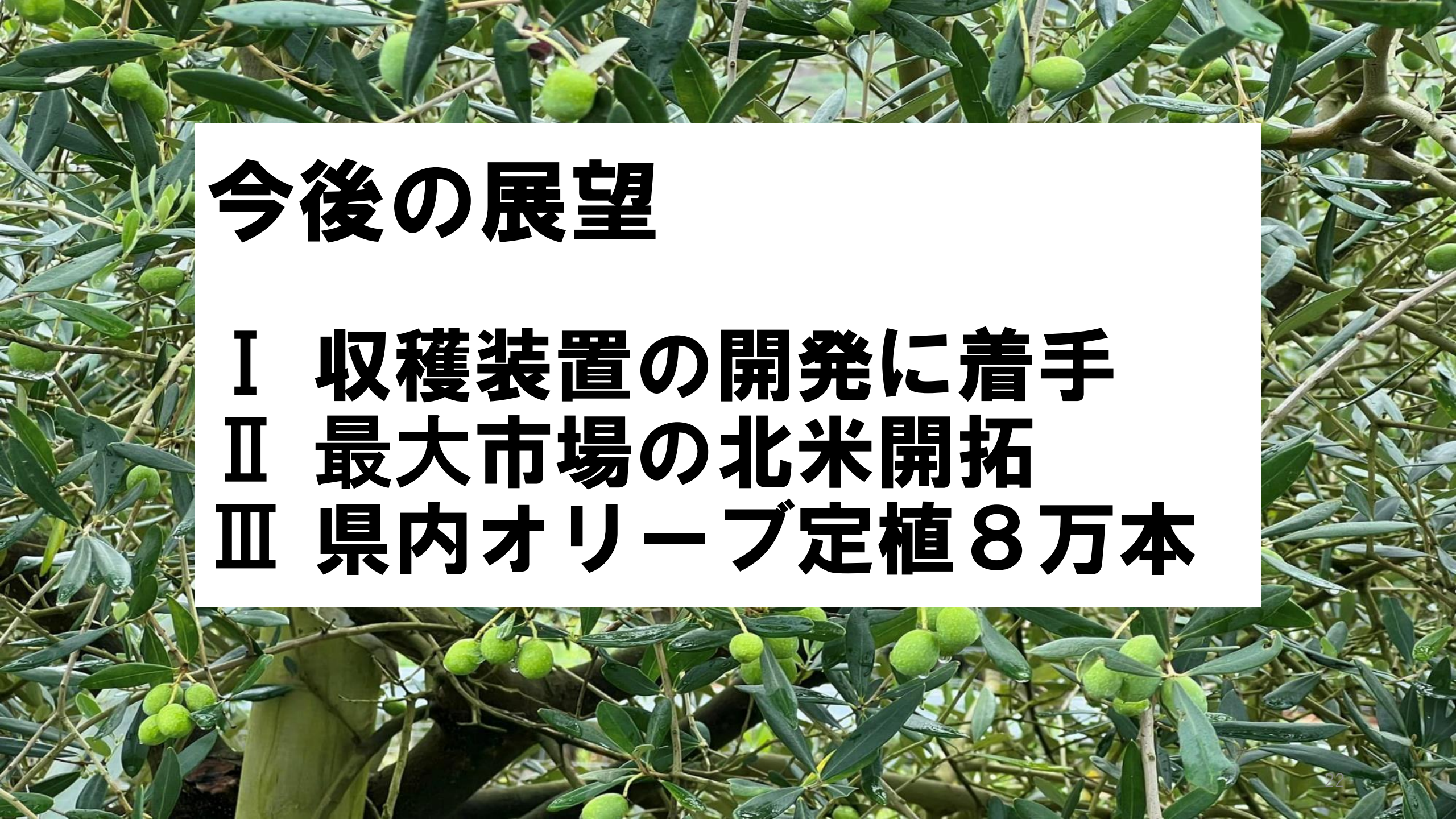
※2023年12月7日に香港のバイヤーが来訪し、本年3月から香港5ヶ所のスーパーにてテスト販売を開始。8種のクラフトオリーブオイルとオリーブ抹茶をもってアジア市場を開拓していく。



オリーブオイルは和食に合うという切り口でアプローチし、オリーブ茶はドリンクにて香港市場でPRする。

計画した共創事業は全て完了

- ・ 実証 8月～1月
- ・ オリーブ葉収穫及び製茶 1月～2月
- ・ メニュー開発と流通 2月～3月
- ・ **最終報告とりまとめ 3月**

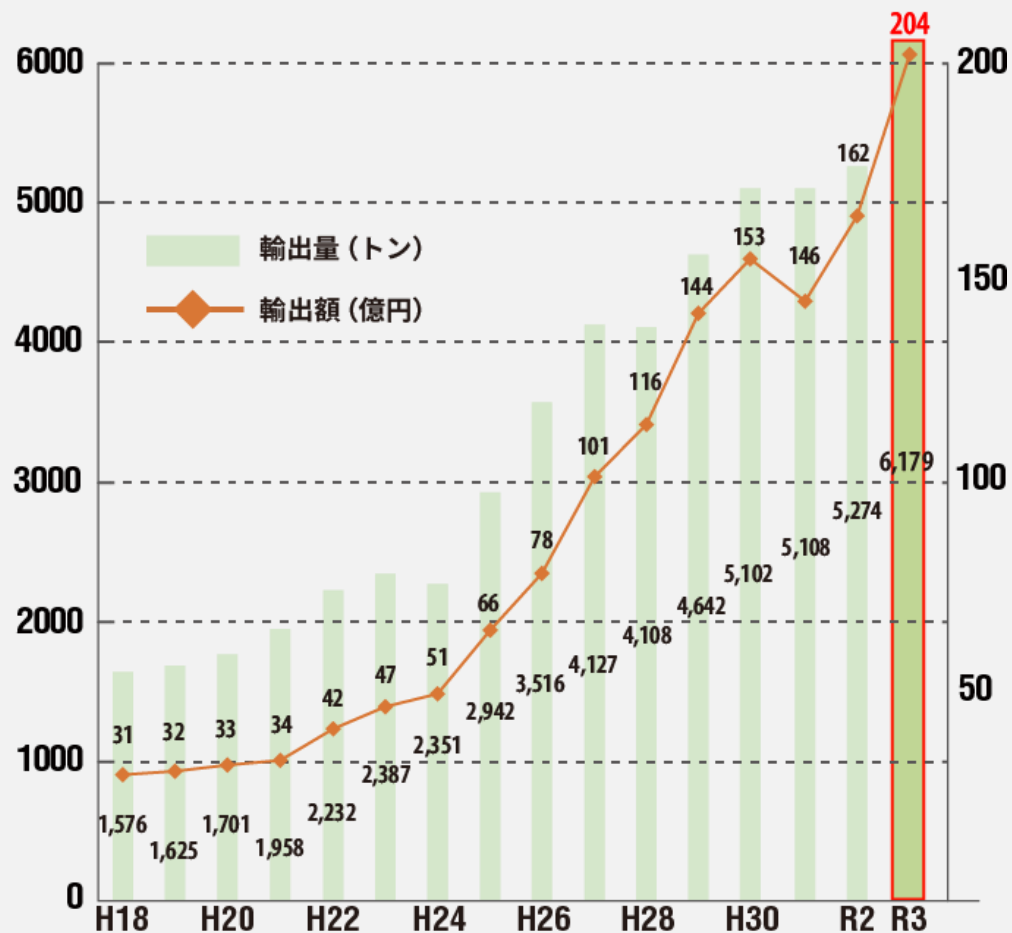
A close-up photograph of an olive tree branch. The branch is covered with small, dark green, elongated leaves and several clusters of small, round, green olives. The background is slightly blurred, showing more of the tree and its foliage.

今後の展望

- I 収穫装置の開発に着手
- II 最大市場の北米開拓
- III 県内オリーブ定植8万本

日本緑茶が市場拡大し、抹茶が米国で人気

緑茶の輸出実績（世界）



資料：財務省貿易統計

形状別の緑茶輸出実績（2021年）

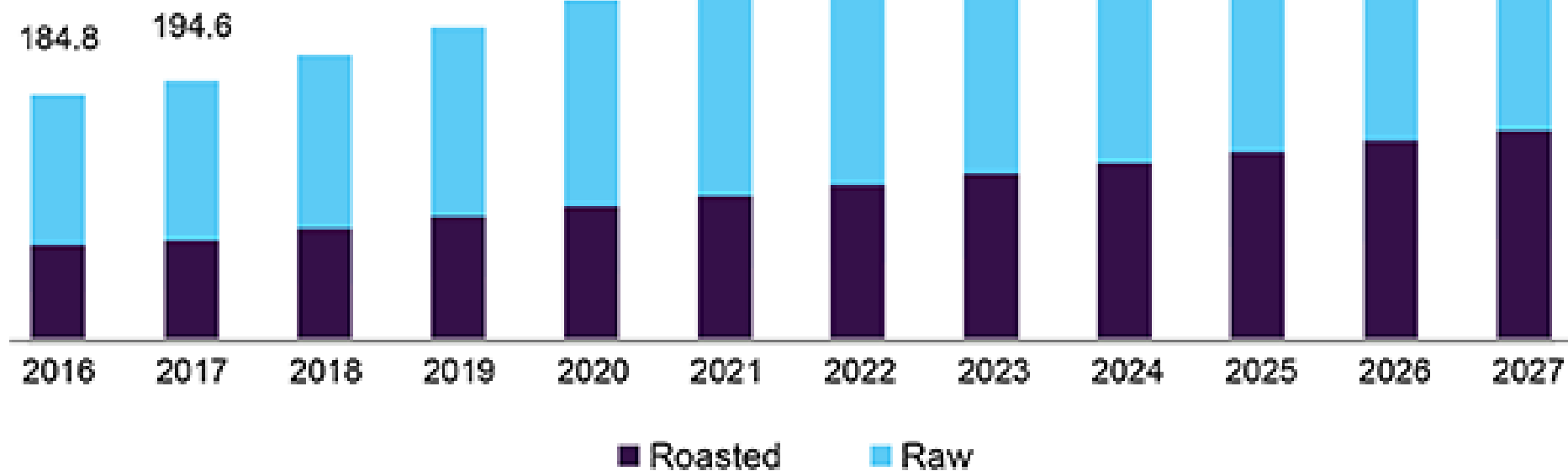
	輸出量 (トン)			輸出額 (百万円)		
	粉末状	その他	合計	粉末状	その他	合計
米国	1,648 (73%)	606 (27%)	2,254	7,685 (75%)	2,616 (25%)	10,301
EU (除く英国)	307 (40%)	467 (60%)	775	1,807 (58%)	1,294 (42%)	3,101
台湾	132 (9%)	1,365 (91%)	1,497	506 (30%)	1,197 (70%)	1,703
世界計	3,024 (49%)	3,155 (51%)	6,179	13,338 (65%)	7,081 (35%)	20,418

資料：財務省貿易統計 ※括弧内は、形状別の割合

その一方で米国ではデカフェ市場が拡大中

U.S. decaf coffee market size, by product, 2016 - 2027 (USD Million)

北米開拓のターゲットはデカフェユーザー



Source: www.grandviewresearch.com